

## 2学期も終了

明日で2学期も終了になります。保護者の皆さま、地域の皆さま、たいへんお世話になりました。学校にとっては2学期が一番長く様々な行事があります。思い出せば、野矢っ子探検隊、稲刈り体験、修学旅行、玖珠郡教育文化祭、学校文化祭・収穫祭、マラソン大会など多くの行事や活動を行ってきました。数年前はコロナ禍で、感染症対策のために多くの行事や活動が縮小されていたと考えれば、本当に充実した日々が送れるようになっています。

「人は人によって人となる」という言葉を聞いたことがあります。子どもたちが成長する上で、人との関わりが重要である感じています。野矢小学校では、毎日24人の児童と約10人（日によってもかわりますが）の教職員の関わりで生活しています。しかし、様々な行事や活動を行うと、それが何十倍の人との関わりができます。地域の大人や外部からやってきた大人、逆に自分たちが出かけって会う人たちと関わることで多くの刺激を受け、考えが豊かになります。褒められれば、自信になり次の行動に繋がります。体験活動を充実させることで、学校の中の学習だけでは、育てられない力が育つことになります。それを支えて頂いているのが、保護者の方であり地域の方々です。職員一同、野矢小学校に勤務できること感謝しています。

あと1週間で、2024年も終わり新しい年がスタートします。3学期は卒業式といった大切な行事があります。3名の6年生が野矢小学校から大きく巣立てるように、在校児童が1つ上の学年に立派に進級できるように頑張っていこうと思います。3学期も応援よろしくお願ひします。

令和6年度

12月23日

第8号

校長 小幡英二

野矢小学校  
ホームページ

## なぜ子どもはウソをつくの？

たまには教員としての立場で書かせていただこうと思います。学校にいと子どもが時々ウソをつくシーンに出くわします。ウソをつくことは良いことではありません。しかし、逆に言えば、成長している証でもあります。ウソをつく原因は3つあるそうです。「自分の過ちや失敗を隠そうとする」「願望が強すぎる」「人の注意を引きたい」といった理由でウソをつくそうです。つまりウソをつく理由が存在するのです。そこですぐにやっではない対処法も3つあるようです。「子どもに嘘つきという」「理由を問い詰める」「すぐに謝罪を強要する」だそうです。私もついやってしまいそうなこともあります。まずは子どもの話を聞くことが大切です。なぜウソをついたのか、なぜウソをつかなければならなかったのかを知ったうえで、謝らせたり、言い聞かせたりすることが必要です。とはいうものの、私も自分の子どもの場合はどうなのか考えると難しいと思いました。私たち大人も時々ウソをつくことがあると考えれば、少しは冷静に対応できるかもしれません。お互い子育てに頑張りましょう。